

現状

- 鳥屋野潟南部地区は年間約300万人の来訪者が集まる交流エリア
- そのうち、スタジアム関連には約60万人の来訪者

しかし、周辺に立ち寄る施設や時間を過ごす施設が不足



交流拡大を目的とした開発を検討

- スタジアム等と連携し、イベントの余韻を楽しみながら来訪者の滞在時間を延伸する施設
- 新潟の食やみなとまち文化等の魅力発信により、都心エリアをはじめとした8区などへ観光誘導する施設
- 広域のネットワークにより新潟の地産品等をPRし、非日常の雰囲気や取扱い商品の特異性により、市外・県外など広域から集客する施設 ※
- 都心エリアの消費需要をはじめ、地域の多様な物流需要に対応する施設 ※

鳥屋野潟南部地区の防災機能を補完

- 近接する広域避難場所や一時避難場所への迅速な物資提供などによる防災体制の強化

※ 防災協定（物資・スペース提供など）を締結予定

地域未来投資促進法基本計画の変更、地区計画策定、県にぎわい条例の対応



周辺と調和した住居系の開発を検討

市街化区域への編入を検討

8区（市内全域）への誘導・連携

スタジアム・県立公園等との相乗効果

住居・交流拡大ゾーン

災害時に連携

物資集積

広域集客・広域PR

※ 上記はイメージであり、立地する施設が決まったものではありません